

奈良県内初 HAL® 医療用下肢タイプ 導入

高の原中央病院は、CYBERDYNE株式会社のHAL® 医療用下肢タイプを導入し、神経難病患者様の「立ちたい」、「歩きたい」を叶えていきます。

県内初のHAL®医療用下肢タイプを導入し、
患者様の新たな可能性へ踏み出します。



Prof. Sankai, University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

ロボットスーツ

HAL®

Hybrid Assistive Limb

PRESENTED BY
CYBERDYNE



医療法人 新生会

総合
病院

高の原中央病院

ロボットスーツ HAL®医療用下肢タイプ とは？

HAL® 医療用下肢タイプは、緩徐進行性の神経・筋難病疾患患者を対象に「生体信号反応式運動機能改善装置」という新医療機器として薬事承認された治療ロボットです。

HAL® 医療用下肢タイプは、装着者の“生体電位信号”を読み取り、意思に従った動きを実現します。HAL® を通じて体が思うように動くことで、脳神経系の繋がりが強化・調整され、身体機能の改善・再生が促進されます。

HAL® 医療用下肢タイプによる当該疾患患者に対する治療処置は、医療保険の適用となっています。

外観



Prof. Sankai, University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

【当院導入HAL®サイズ】

サイズ	S
適応身長(目安)	150-165
大隊長	36-38
下腿長	35-38
	(単位;cm)

対象者について

1) 対象となる方

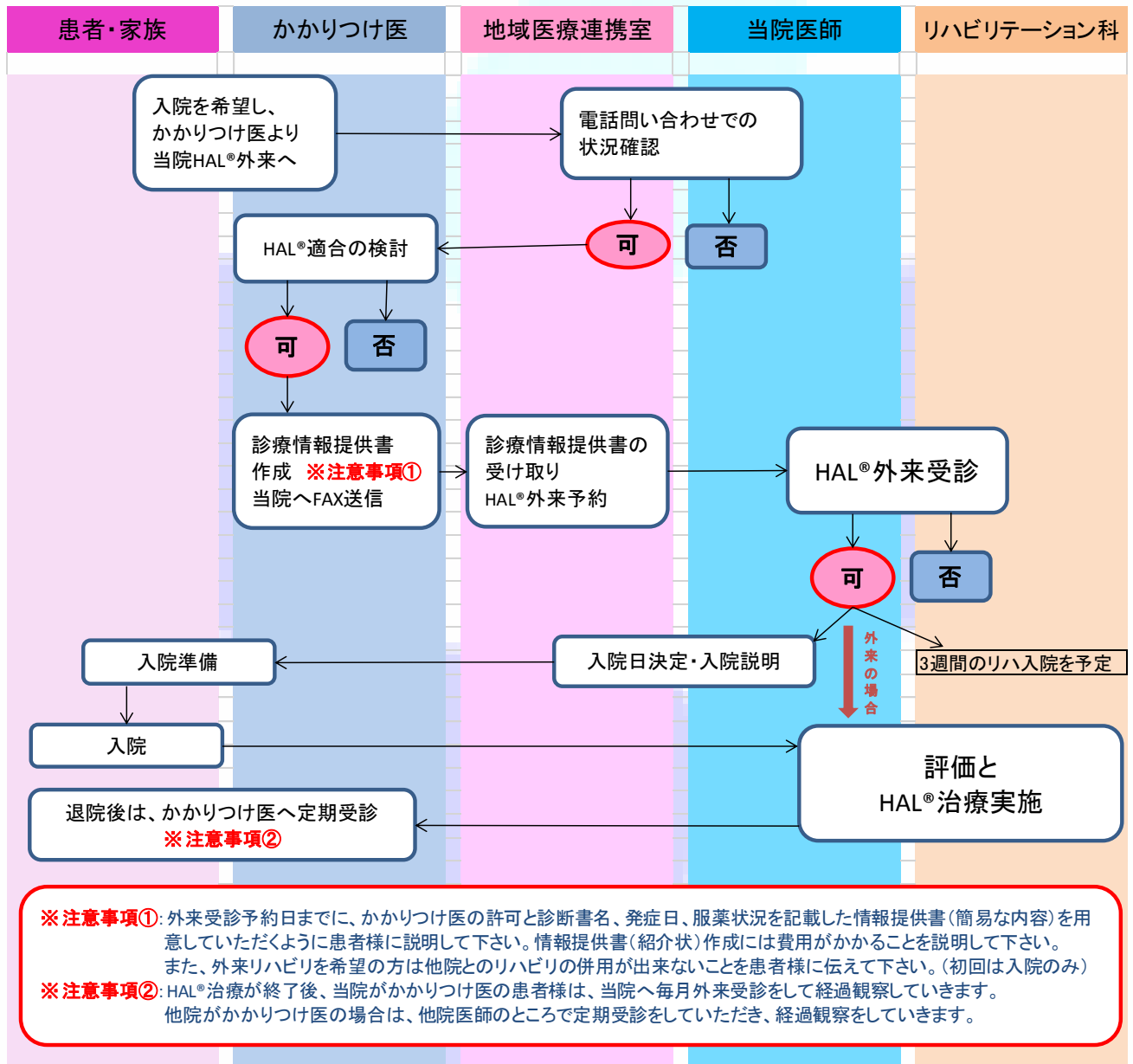
緩徐進行型の神経・筋疾患により歩行機能が低下した方を対象とする。対象となる緩徐進行型の神経・筋疾患は、脊髄性筋萎縮症(SMA)、球脊髄性筋萎縮症(SBMA)、筋萎縮症側索硬化症(ALS)、シャルコー・マリー・トゥース病(CMT)、遠位型ミオパチー、封入体筋炎(IBM)、先天性ミオパチー、筋ジストロフィーのいずれかと診断され、歩行の介助又は歩行補助具を要し、下記条件をいずれも満たした方。

- a) 体重40～100kg
- b) 身長150～165cm程度、又は大腿長、下腿長、腰幅など身体サイズが合い、本品の装着が可能な方。

2) 対象外となる方

- ・体重、大腿長、下腿長、腰幅など身体サイズが本装置に合わない方、並びに体に大きな変形があるなどの理由により、本装置の装着が困難な方
- ・立位・歩行練習の実施が適切ではないなど、医師が不適切と判断した方（例：高血圧、心疾患、呼吸器系障害著しい骨の脆弱性など）
- ・皮膚の疾患により電極の貼り付けができない方
- ・著しい下肢の関節障害や拘縮を認める方
- ・強い関節痛や筋肉痛を認める方
- ・明らかな運動失調を認める方
- ・四肢あるいは体幹に明らかな不随意運動がある方
- ・妊娠中の方
- ・意識障害、高次脳機能障害、認知症状、精神症状による生活上のトラブルがある方
- ・感覚障害が重度な方
- ・端座位(起座位)保持が困難な方
- ・当院の入院規程等の決まりを順守できない方

HAL®医療用下肢タイプ 運用フローチャート(流れ図)



注意事項

- ・ HAL® 医療用下肢タイプでの治療にあたって、歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）が算定できるのは、脊髄性筋萎縮症（SMA）、球脊髄性筋萎縮症（SBMA）、筋萎縮症側索硬化症（ALS）、シャルコー・マリー・トウス病（CMT）、遠位型ミオパチー、封入体筋炎（IBM）、先天性ミオパチー、筋ジストロフィーの疾患であって、また難病の患者に対する医療等に関する法律（平成26年法律第50号）第5条に規定する指定難病の患者であって、同法第7条4項に規定する医療受給者証を交付されているものに限りします。
- ・ HAL® 医療用下肢タイプの装着の効果、治療内容・方法には個人差があることをご了承ください。
- ・ HAL® 医療用下肢タイプは、Sサイズ1台のみの導入のため、予約状況によっては待機していただくことがございます。
- ・ HAL® 医療用下肢タイプの治療は、初回は入院いただきます。
- ・ HAL® 医療用下肢タイプでの治療効果に関しての内容や、入院でのHAL® 医療用下肢タイプでの治療費に関しては、かかりつけ医からお問い合わせをいただいた後、ご説明させていただきます。
- ・ 脳卒中や整形疾患患者に対しての自由診療での治療は対応しておりませんので予めご了承ください。

《 かかりつけ医からの連絡・問い合わせ先 》



医療法人 新生会

総合
病院

高の原中央病院

地域医療連携室

TEL(直通)0742-71-1686

FAX(直通)0742-71-0088